

けいしちょう安全安心モニター制度

■ 目的

「安全で安心して暮らせる街、東京」の実現に向けた諸対策を効果的に推進するため、警察業務における課題等に関し、都民等からの意見や提案をインターネット利用によるアンケートを実施することにより集約し、迅速かつ効果的に施策等に反映させることを目的とする。

■ 制度の概要

1 調査対象者(けいしちょう安全安心モニター)

満18歳以上の都内在住、在勤又は在学する者 1,000名以内

※ 警視庁ホームページ上でモニターを公募し、応募者の中から、性別、年代、居住地域等を考慮して候補者を選定し、電子メールにより通知(依頼)

2 アンケートの実施

○ 調査方法

インターネットを利用したアンケートによる調査

○ 調査項目(アンケートテーマ)

重点的に実施している施策や今後取り組む課題等に必要な事項

○ 調査回数

平成24年度内に4回実施予定

3 謝礼

アンケート1回につき、図書カード(500円券)1枚を年度末にまとめて交付

調査の概要

- 調査テーマ
「体感治安の向上と身近な犯罪の被害防止」について
- 調査目的
昨年の治安や日常生活に危険や悪影響を及ぼす犯罪のことなどについての意識等を調査し、当庁の今後の施策等の参考とするため。
- 調査期間
平成25年2月22日(金)から平成25年3月4日(月)までの間
- 調査方法
インターネットを利用したアンケート調査
- 調査対象(平成24年度けいしちょう安全安心モニター)
950名
※ 公募した満18歳以上の都内在住者、在勤者又は在学者
- 回答者数
863名(回答率 90.8%)
- 回答者の属性

属 性		回収数	構成比	
全 体		863	100.0	
性別	男 性	427	49.5	
	女 性	436	50.5	
年代別	18歳～19歳	14	1.6	
	20代	108	12.5	
	30代	165	19.1	
	40代	172	19.9	
	50代	131	15.2	
	60代	158	18.3	
	70歳以上	115	13.3	
職業別	会社員	271	31.4	
	公務員	17	2.0	
	自営業	83	9.6	
	パート・アルバイト	83	9.6	
	学生	49	5.7	
	主婦	201	23.3	
	無職	123	14.3	
	その他	36	4.2	
居住地域別	都内在住	23区部	536	62.1
		市町村部	292	33.8
	都外在住	35	4.1	

※ 集計結果は、百分率(%)で示している。小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases)は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

「体感治安の向上と身近な犯罪の被害防止」について

「安全で安心して暮らせる街、東京」の実現に向け、警視庁では、「規範意識の向上」と「地域の絆の再生」をキーワードとして、「犯罪の起きにくい社会づくり」に取り組んでいます。

今回のアンケートは、『体感治安の向上と身近な犯罪の被害防止について』をテーマに、昨年の治安についての意識や日常生活に危険や悪影響を及ぼす犯罪のことなどをお聞きして、「犯罪の起きにくい社会づくり」のための施策等に活用させていただくものです。

◇体感治安の向上について

- Q1 昨年1年間の都内における犯罪の発生件数は、一昨年と比べてどうなったか、どう思いますか。 4
- Q2 一昨年と比べて昨年は増えたと感じる犯罪がありますか。 5
- Q3 警察は、今後、どのような犯罪の発生を減らすことに最も力を入れるべきだと思いますか。 6

◇街で発生する暴力事件について

- Q4 街（駅や建物内を含む。）で発生する暴力事件は、増えていると感じますか。 7
- Q5 街で発生する暴力事件が増えていると感じるのは、どうしてですか。 8
- Q6 突然暴力を振るわれたり、刃物などで殺傷されることを防ぐためには、何が効果的だと思いますか。 9

◇インターネット掲示板等への書き込みについて

- Q7 インターネット掲示板等を利用することについて、不安を感じますか。 10
- Q8 インターネット掲示板等で、どのような違法・有害情報を見たことがありますか。 11
- Q9 違法・有害情報を見たときに、どこかに通報しましたか。 12
- Q10 警察やインターネット・ホットラインセンター等からの違法・有害情報の削除要請に対し、サイト管理者等は、どのように対応していくべきだと思いますか。 13
- Q11 インターネット掲示板等を利用した犯罪を防ぐためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 14

◇子どもが使用する携帯電話のフィルタリングについて

- Q12 子どもに携帯電話（スマートフォンを含む。）を使用させた場合、どのような不安がありますか。 15
- Q13 あなたの子どもがスマートフォンを持ちたいと希望したら、どうしますか。 16
- Q14 子どもの携帯電話（スマートフォンを含む。）にフィルタリングを設定することについてどう思いますか。 17
- Q15 スマートフォンに対するフィルタリングの設定は2つの回線にする必要があることを知っていましたか。 18
- Q16 子どもに携帯電話（スマートフォンを含む。）を持たせるときのフィルタリングを普及させるためには、どうしたらいいと思いますか。 19

◇ストーカー被害の防止について

- Q17 ストーカー行為について、どう思いますか。 20
- Q18 ストーカー被害が増えているのは、どうしてだと思いますか。 21
- Q19 ストーカー行為をさせないためには、何が重要だと思いますか。 22

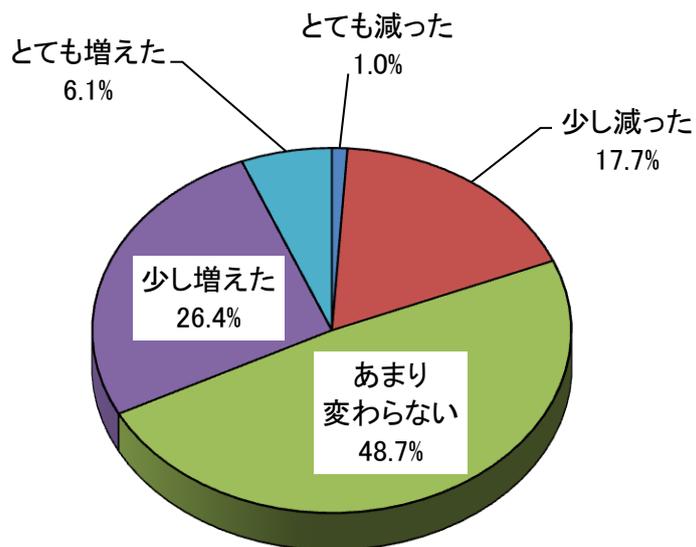
◇けいしちょう安全安心モニター制度について

- Q20 来年度はどのようなことを調査すべきかなど、ご意見をお聞かせください。 23

体感治安の向上について

Q 1 昨年1年間の都内における犯罪の発生件数は、一昨年と比べてどうなったと思いますか。
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=863)



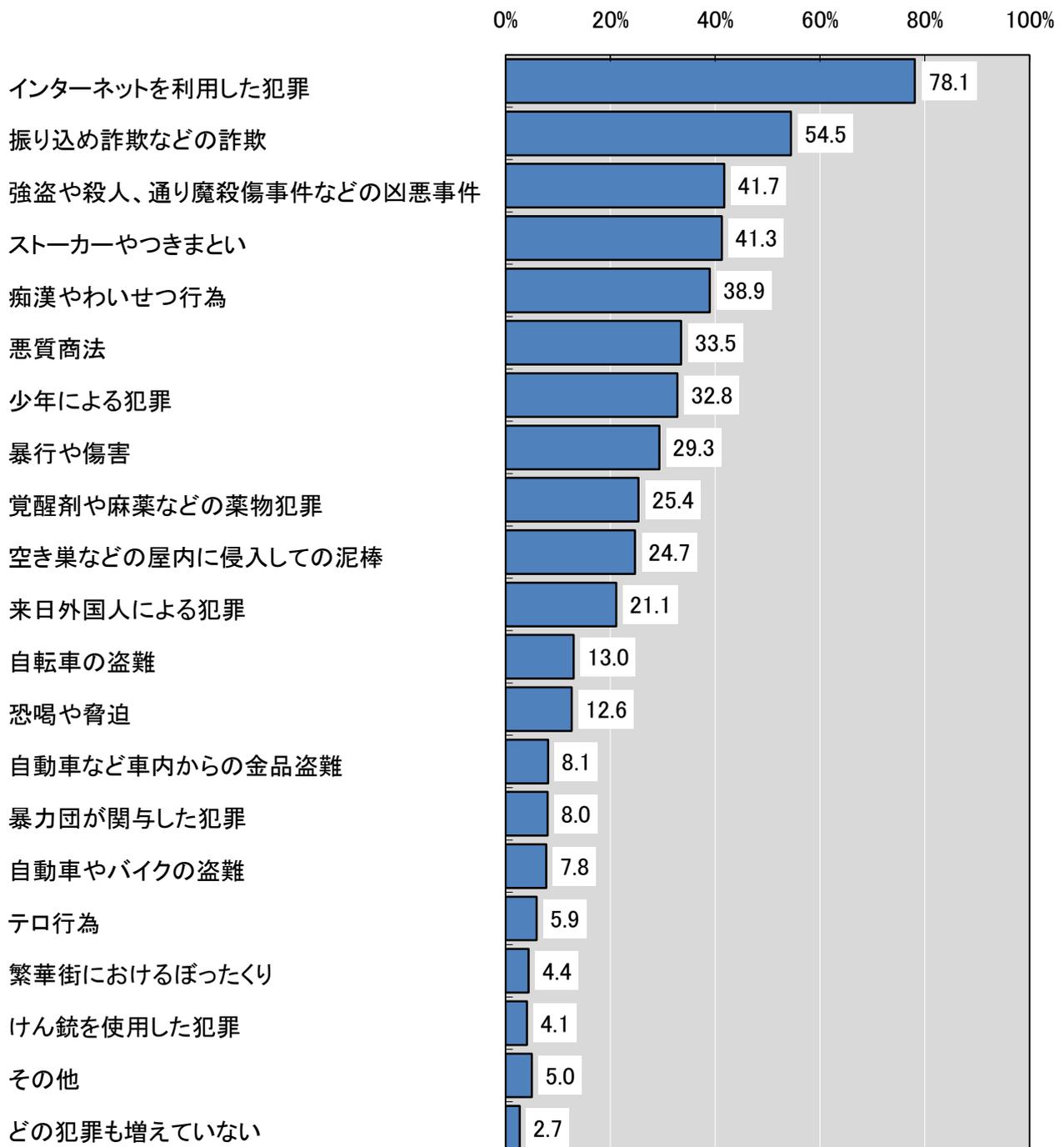
※ 「減った(計)」(18.7%) = 「ととも減った」 + 「少し減った」

「増えた(計)」(32.5%) = 「ととも増えた」 + 「少し増えた」

体感治安の向上について

Q2 一昨年と比べて昨年は増えたと感じる犯罪がありますか。
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

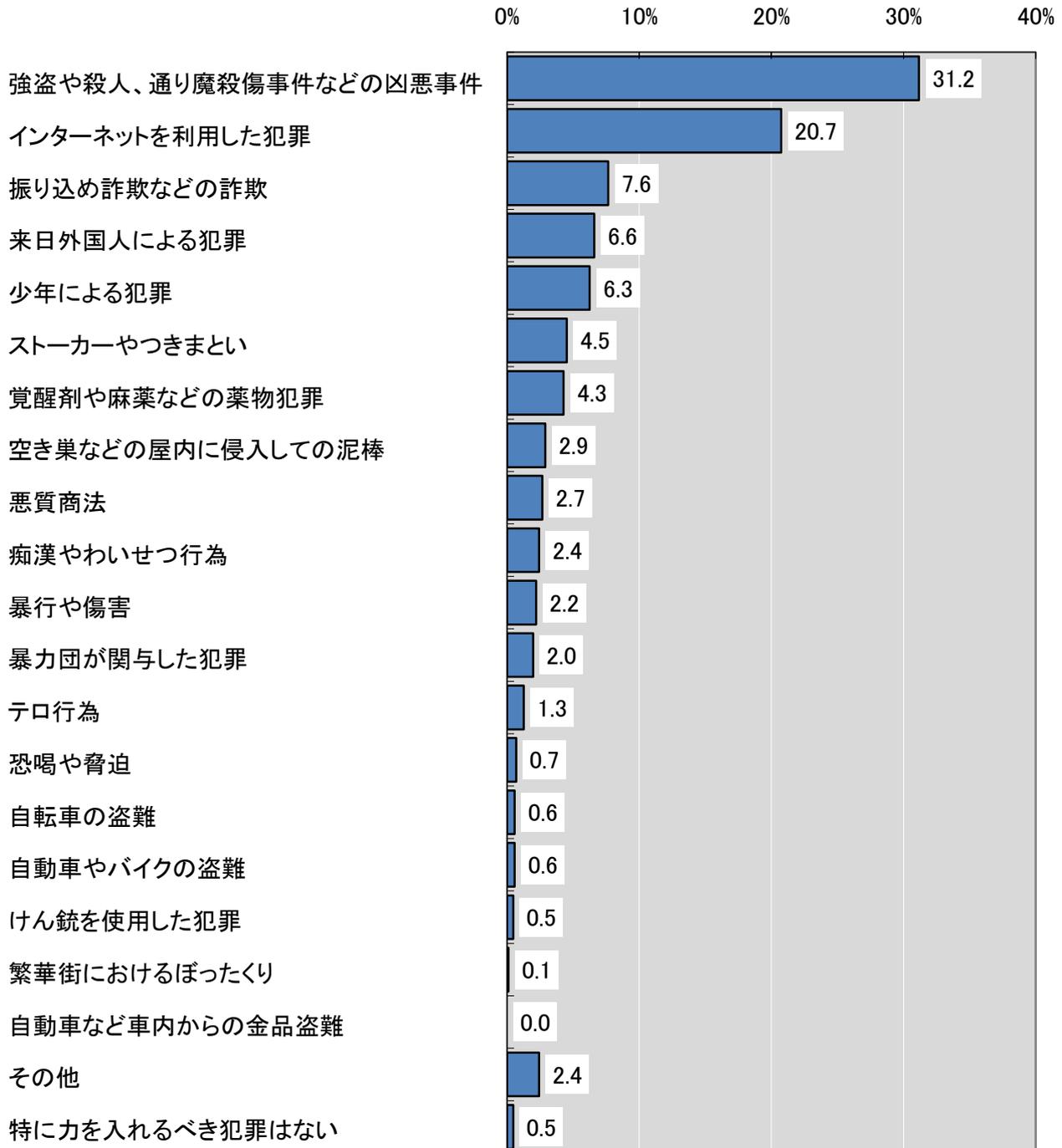
【全体】(n=863)



体感治安の向上について

Q3 警察は、今後、どのような犯罪の発生を減らすことに最も力を入れるべきだと思いますか。該当する項目を1つだけ選んでください。

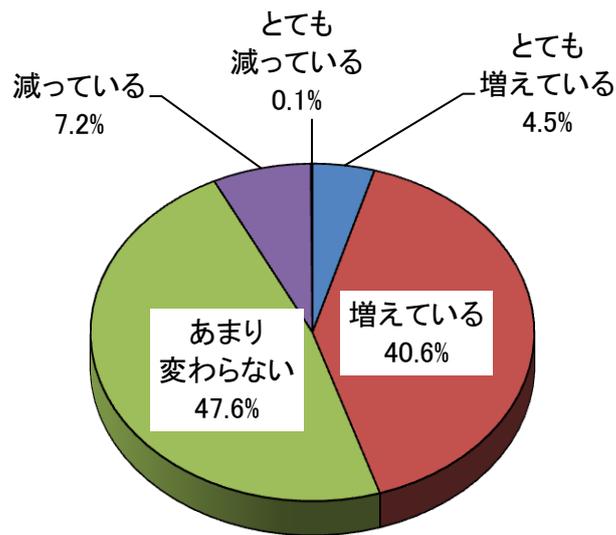
【全体】(n=863)



街で発生する暴力事件について

Q 4 街（駅や建物内等を含む）で発生する暴力事件は、増えていると感じますか。
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=863)



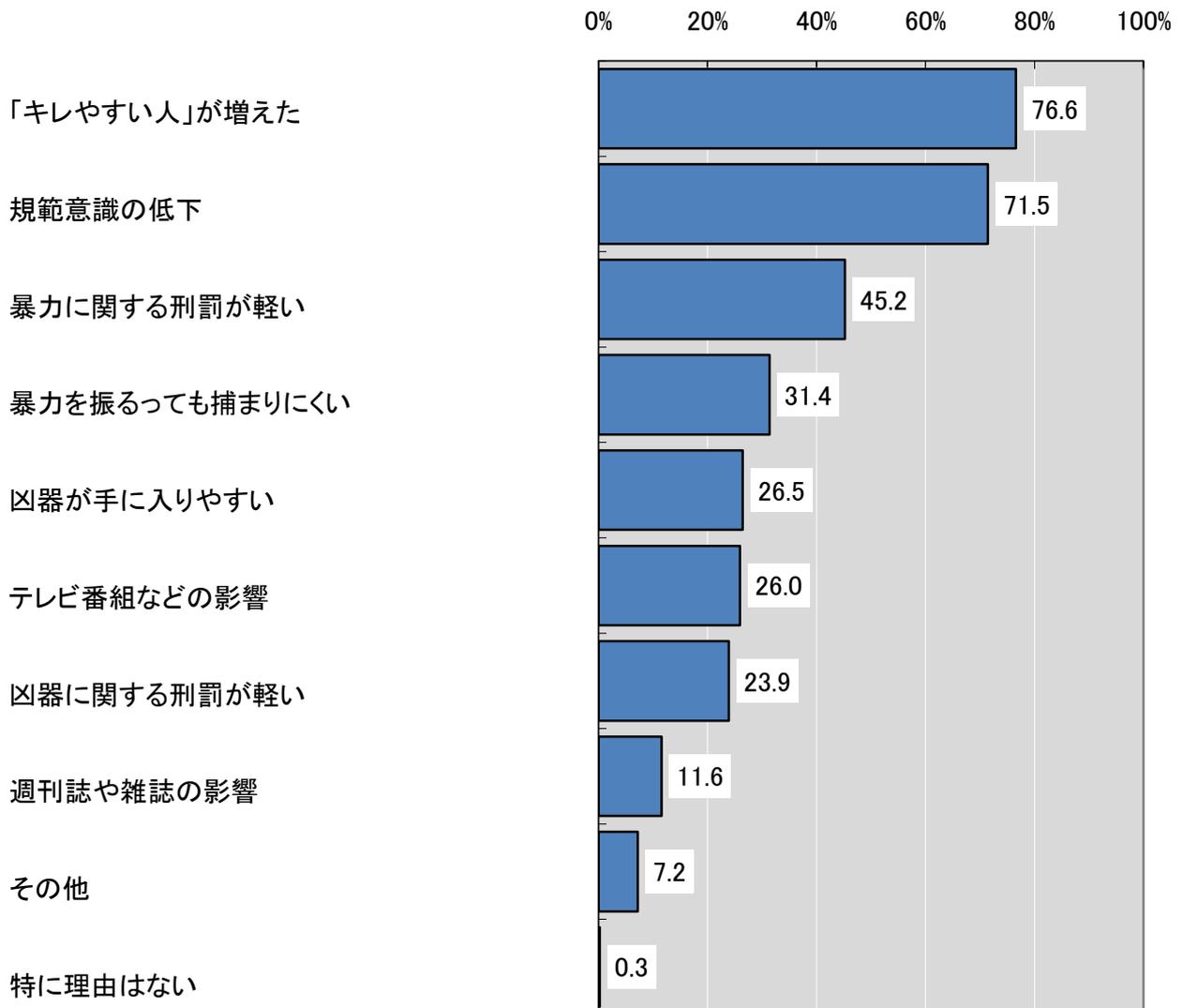
※ 「増えている（計）」（45.1%）＝「とても増えている」＋「増えている」
「減っている（計）」（7.3%）＝「とても減っている」＋「減っている」

街で発生する暴力事件について

Q4で「とても増えている」又は「増えている」と選択した方にお尋ねしました。
(45.1% 389人)

Q5 街で発生する暴力事件が増えていると感じるのは、どうしてですか。
該当する項目を選んでください(複数選択可)。

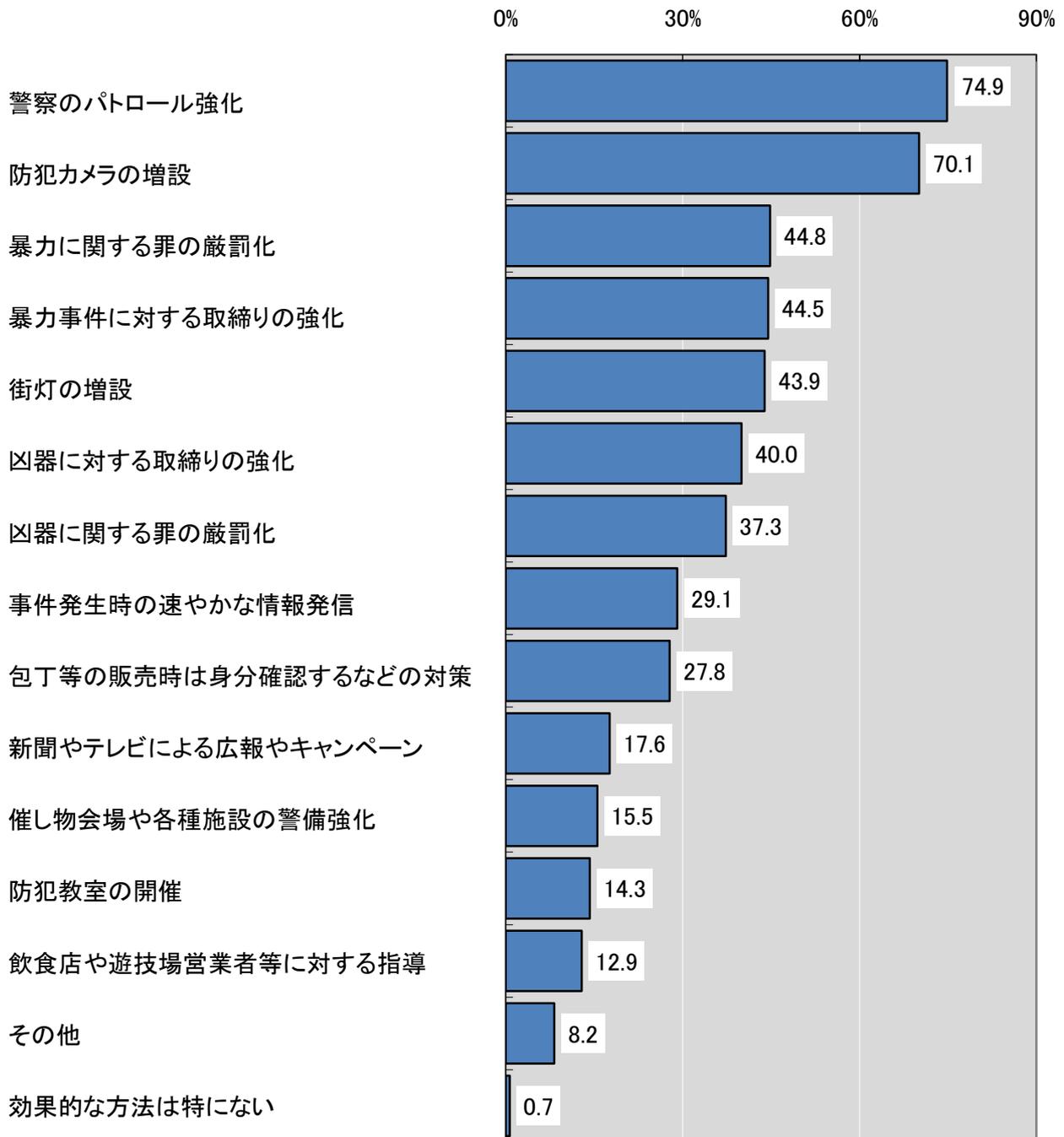
【全体】(n=389)



街で発生する暴力事件について

Q6 突然暴力を振るわれたり、刃物などで殺傷されることを防ぐためには、何が効果的だと思いますか。該当する項目を選んでください（複数選択可）。

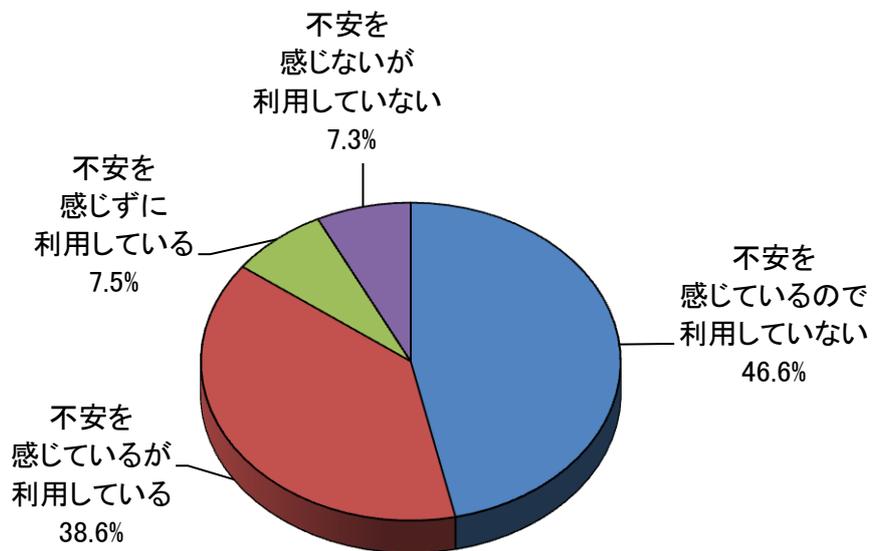
【全体】(n=863)



インターネット掲示板等への書き込みについて

Q7 インターネット掲示板等を利用することについて、不安を感じますか。
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=863)



※ 「不安を感じている（計）」（85.2%）
＝「不安を感じているので利用していない」＋「不安を感じているが利用している」

「不安を感じない（計）」（14.8%）
＝「不安を感じずに利用している」＋「不安を感じないが利用していない」

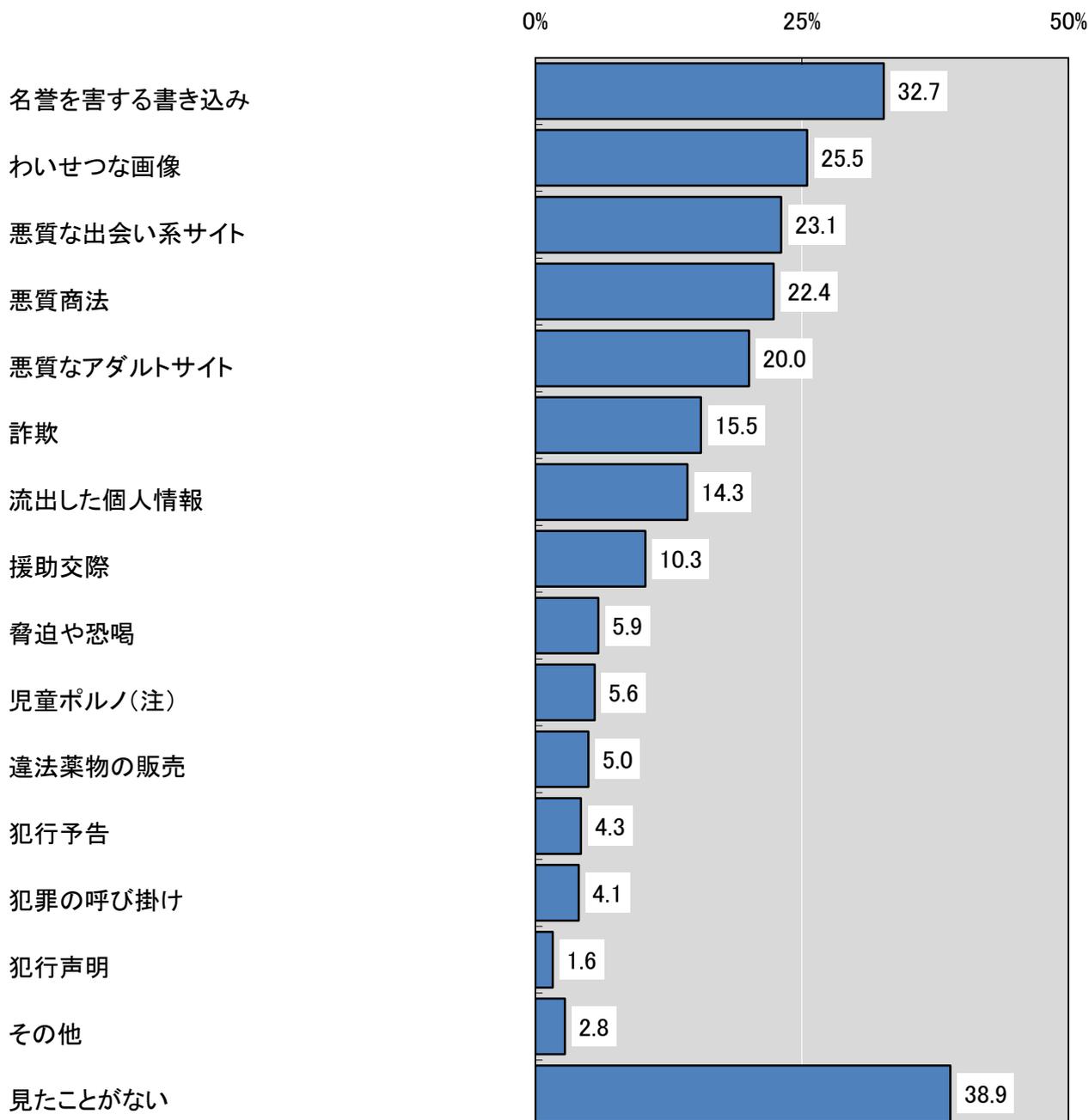
※ 「利用している（計）」（46.1%）
＝「不安を感じているが利用している」＋「不安を感じずに利用している」

「利用していない（計）」（53.9%）
＝「不安を感じているので利用していない」＋「不安を感じないが利用していない」

インターネット掲示板等への書き込みについて

Q8 インターネット掲示板等で、どのような違法・有害情報を見たことがありますか。
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

【全体】(n=863)



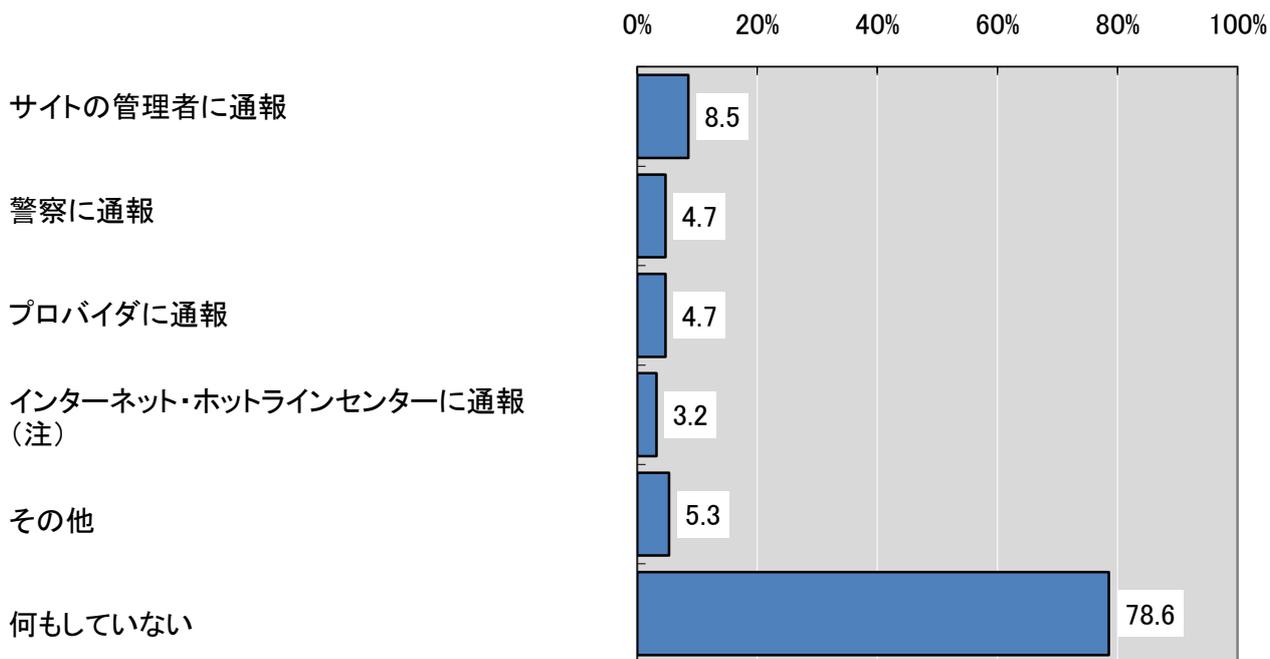
(注) 児童ポルノとは、児童（18歳未満の者）の性交を写したのものや、性交に類似する行為を写したものに加え、性欲を興奮・刺激させる全裸・半裸姿の児童を写したものが該当します。

インターネット掲示板等への書き込みについて

Q8で「見たことがない」を選択しなかった方にお尋ねします。
(61.1% 527人)

Q9 違法・有害情報を見たとき、どこかに通報しましたか。
該当する項目を選んでください(複数選択可)。

【全体】(n=527)

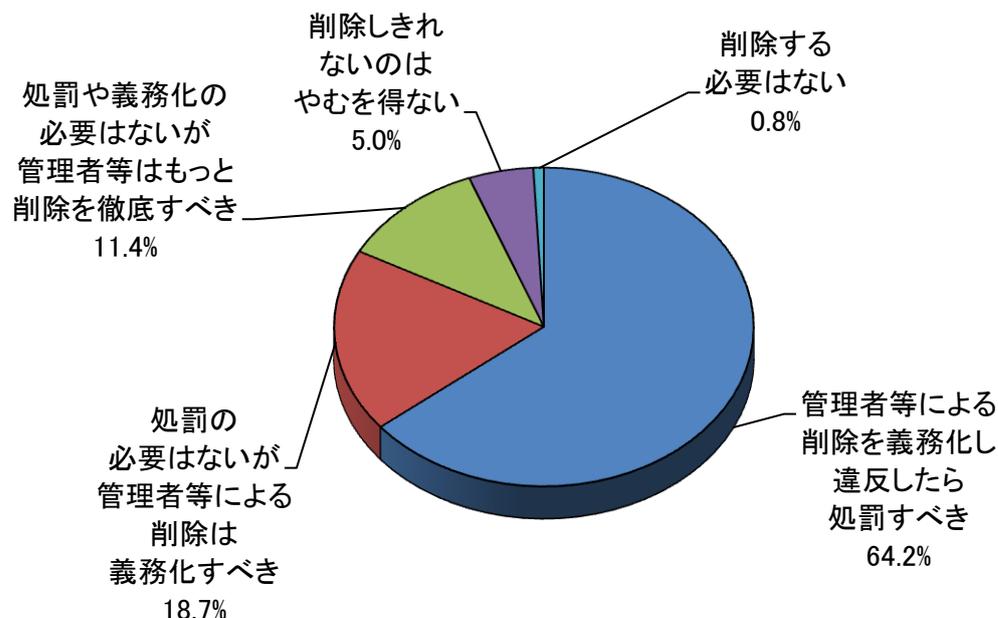


(注) インターネット・ホットラインセンターとは、インターネット上の違法・有害情報の通報受付窓口のことです。インターネット・ホットラインセンターでは、寄せられた通報を分析し、違法と判断した情報を警察に提供したり、公序良俗(社会的な道徳)に反する情報について、サイト管理者等に削除要請や送信防止措置等の対応を依頼しています。
これを受け、警察は、サイト管理者等への削除要請や発信元に対する警告・取締りなどに活用し、サイト管理者等は、任意ではあるものの、情報の削除や送信防止措置等の対応をしています。

インターネット掲示板等への書き込みについて

Q10 警察やインターネット・ホットラインセンター等からの違法・有害情報の削除要請に対するサイト管理者等の対応について、どのようにしていくべきだと思いますか。
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=863)



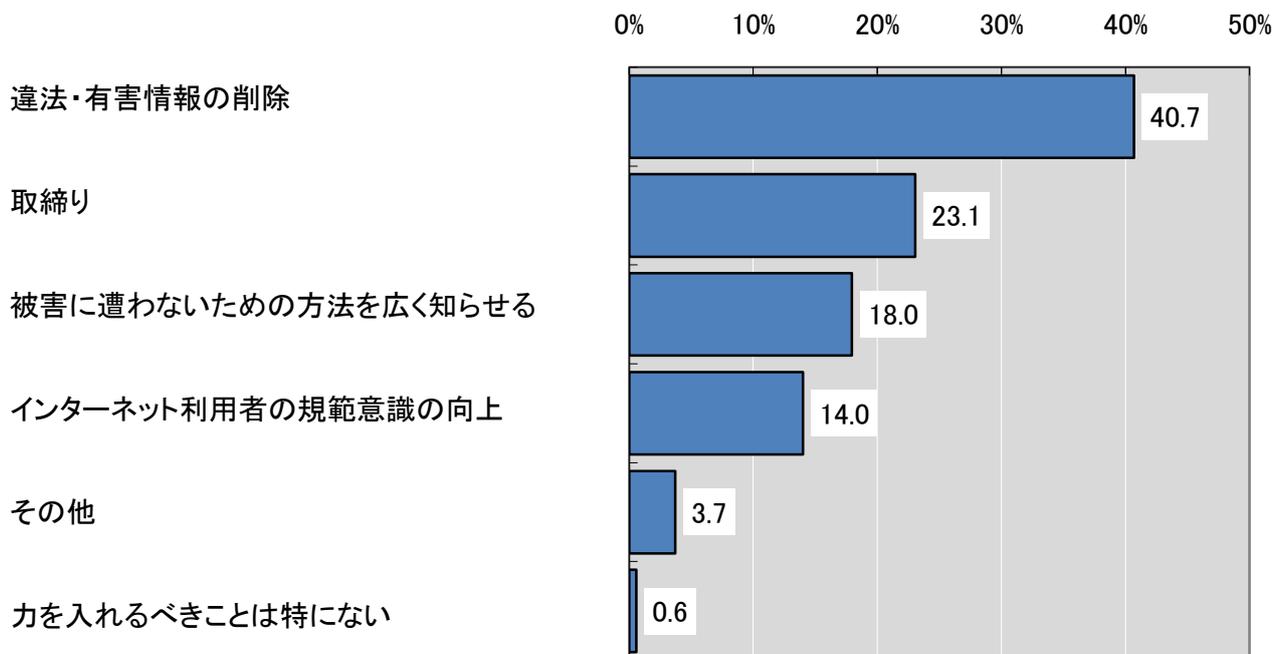
※ 「削除すべき（計）」（94.3%）
 = 「管理者等による削除を義務化し違反したら処罰すべき」
 + 「処罰の必要はないが管理者等による削除は義務化すべき」
 + 「処罰や義務化の必要はないが管理者等はずっと削除を徹底すべき」

※ 「削除を義務化すべき（計）」（82.9%）
 = 「管理者等による削除を義務化し違反したら処罰すべき」
 + 「処罰の必要はないが管理者等による削除は義務化すべき」

インターネット掲示板等への書き込みについて

Q 1 1 インターネット掲示板等を利用した犯罪を防ぐためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。該当する項目を1つだけ選んでください。

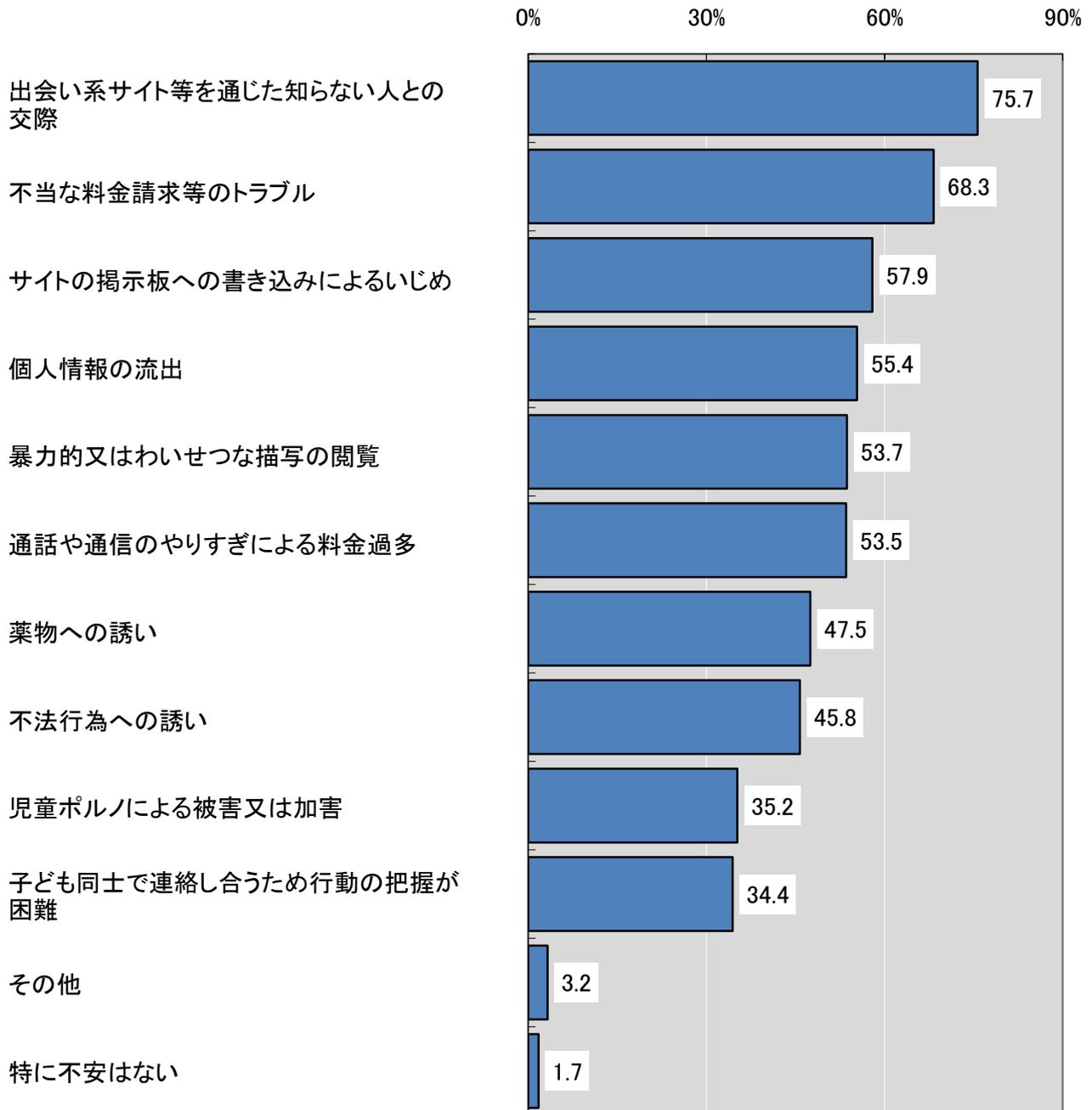
【全体】(n=863)



子どもが使用する携帯電話のフィルタリングについて

Q 1 2 子どもに携帯電話（スマートフォンを含む。）を使用させた場合、どのような不安がありますか。該当する項目を選んでください（複数選択可）。

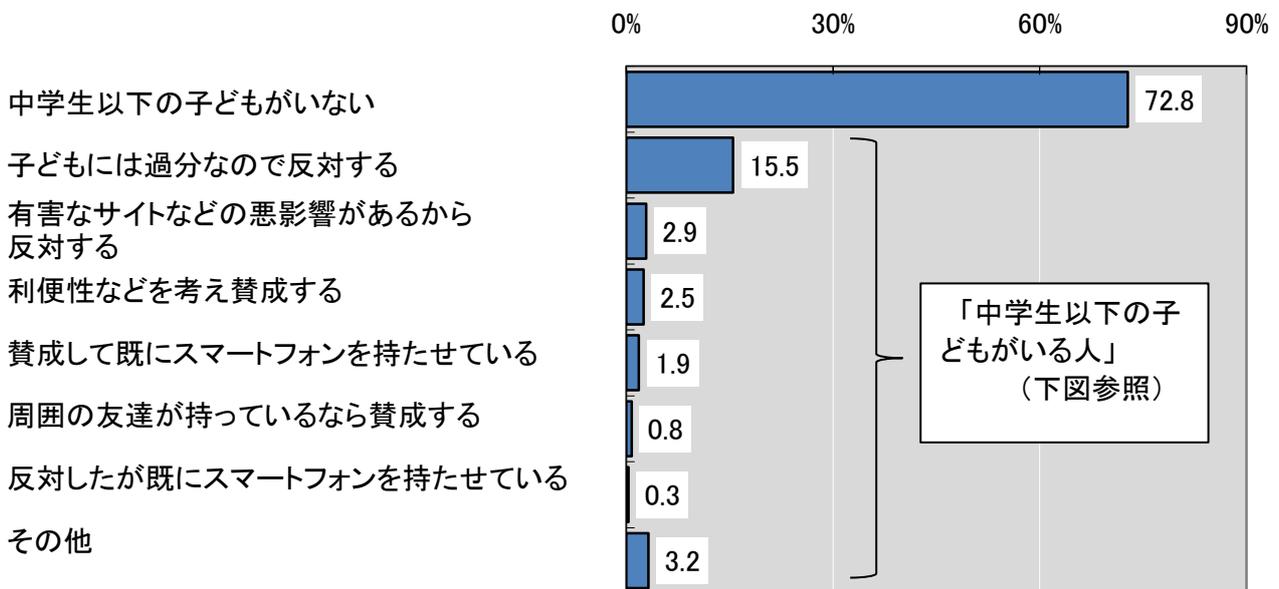
【全体】(n=863)



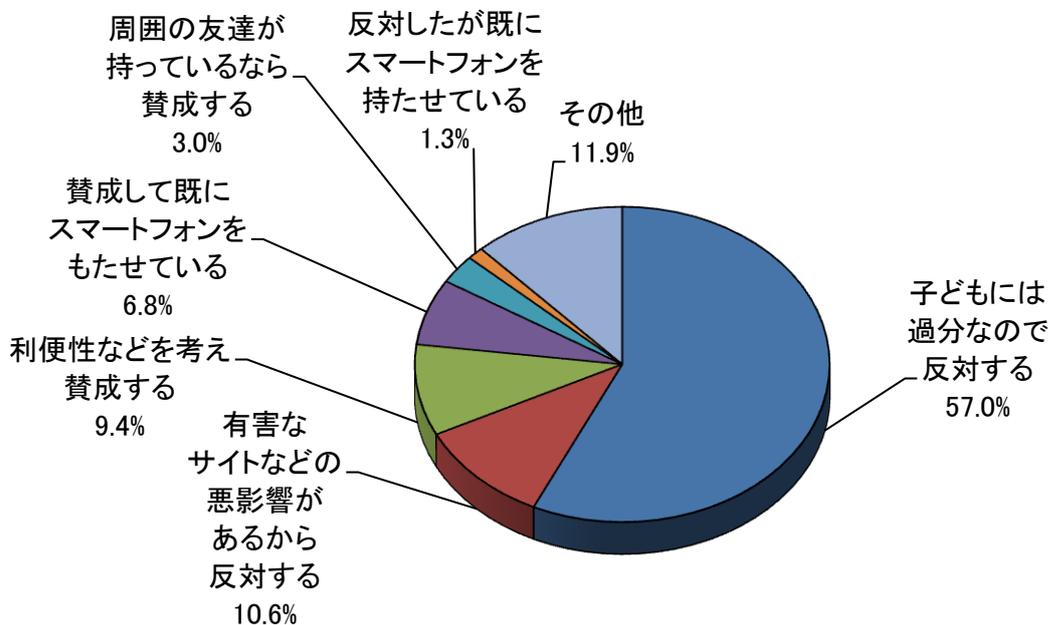
子どもが使用する携帯電話のフィルタリングについて

Q 13 中学生以下のお子様がいる方におたずねします（該当しない方は、「中学生以下のお子様がない」を選択してください）。あなたの子どもがスマートフォンを持ちたいと希望したら、どうしますか。該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=863)



【中学生以下のお子様がいる人】(n=235)



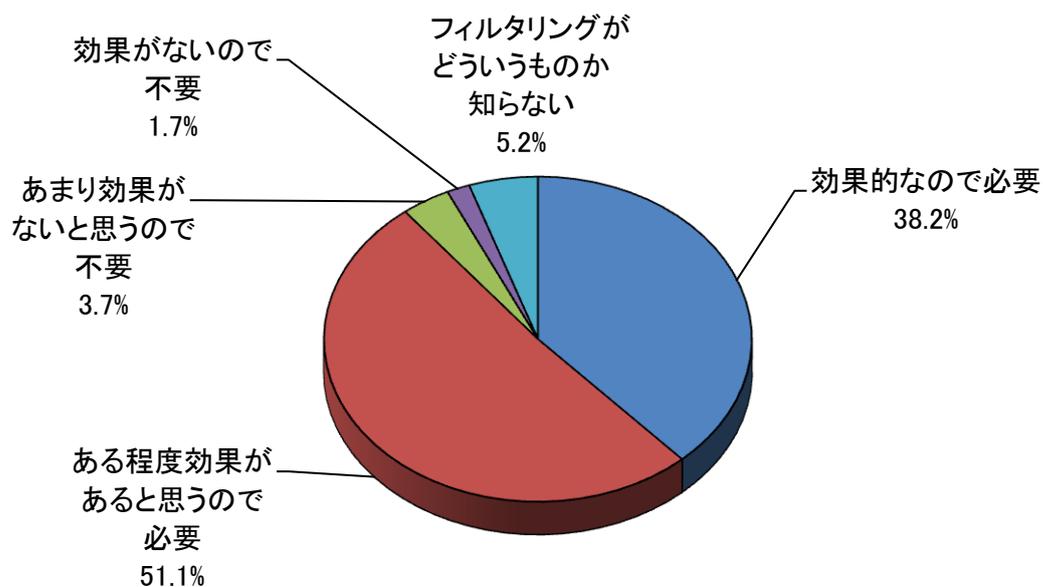
※ 「反対（計）」（67.6%）
= 「子どもには過分なので反対する」 + 「有害なサイトなどの悪影響があるから反対する」

「賛成（計）」（19.2%）
= 「利便性などを考え賛成する」 + 「周囲の友達を持っているなら賛成する」
+ 「賛成して既にスマートフォンを持たせている」

子どもが使用する携帯電話のフィルタリングについて

Q14 子どもの携帯電話（スマートフォンを含む。）にフィルタリングを設定することについてどう思いますか。該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=863)



※ 「必要（計）」（89.3%）
＝「効果的なので必要」＋「ある程度効果があると思うので必要」

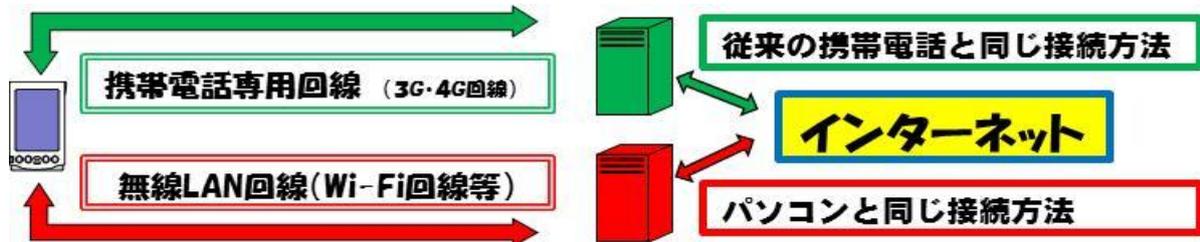
「不要（計）」（5.4%）
＝「効果がないので不要」＋「あまり効果がないと思うので不要」

子どもが使用する携帯電話のフィルタリングについて

次の説明をご覧になってから、設問にお進みください。

<<フィルタリングとは>>

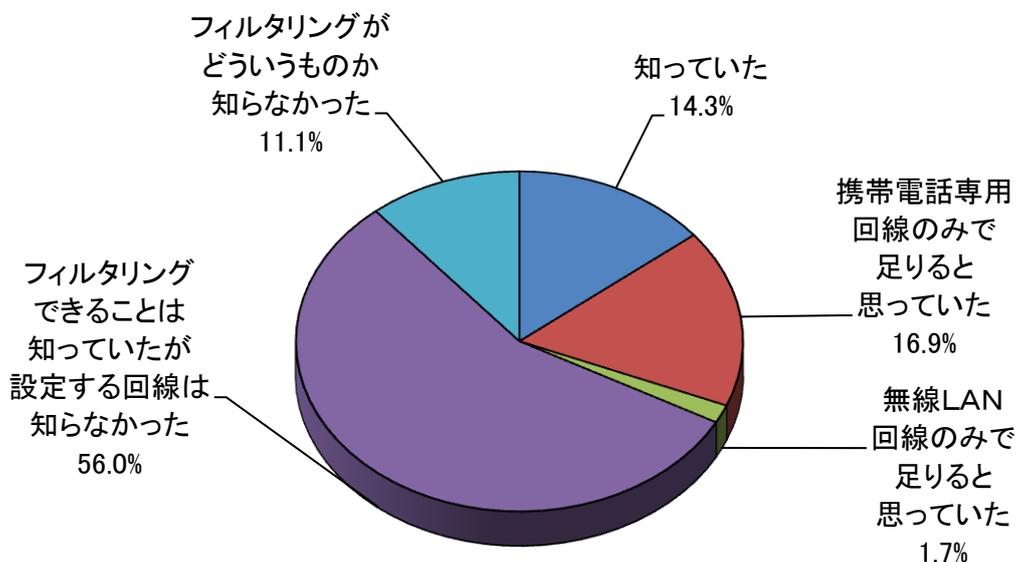
インターネットのページを、一定の基準により表示可能なもの（子ども向けの健全なサイトなど）と表示禁止のもの（犯罪に関するサイトやわいせつなサイトなど）に分け、子どもに見せたくないページにはアクセスできないようにする機能です。



従来の携帯電話は、携帯電話専用回線のみでしたが、スマートフォンは携帯電話専用回線と無線LAN回線の両方で接続が可能なので、双方の回線に対するフィルタリングが必要となります。

Q 15 スマートフォンに対するフィルタリングの設定は2つの回線にする必要があることを知っていましたか。該当する項目を1つだけ選んでください。

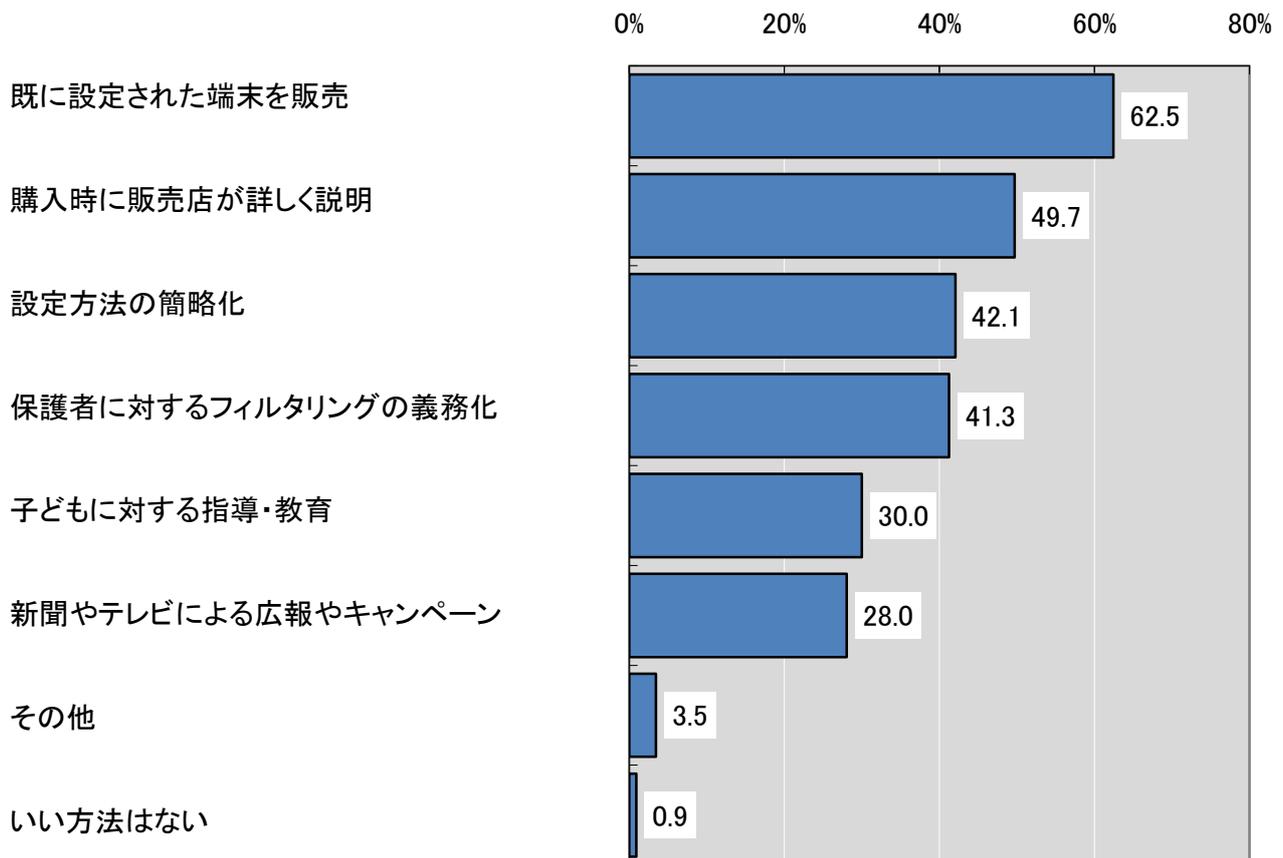
【全体】(n=863)



子どもが使用する携帯電話のフィルタリングについて

Q16 子どもに携帯電話（スマートフォンを含む。）を持たせるときのフィルタリングを普及させるためには、どうしたらいいと思いますか。
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

【全体】(n=863)



ストーカー被害の防止について

次の説明をご覧になってから、設問にお進みください。

平成12年に「ストーカー行為等の規制等に関する法律」が施行されて以降、ストーカー行為について被害者から警察に寄せられる相談は増えており、昨年は、都内で1,437件の相談がありました。

内訳：＜男性からのストーカー被害相談＞206件

＜女性からのストーカー被害相談＞1,231件

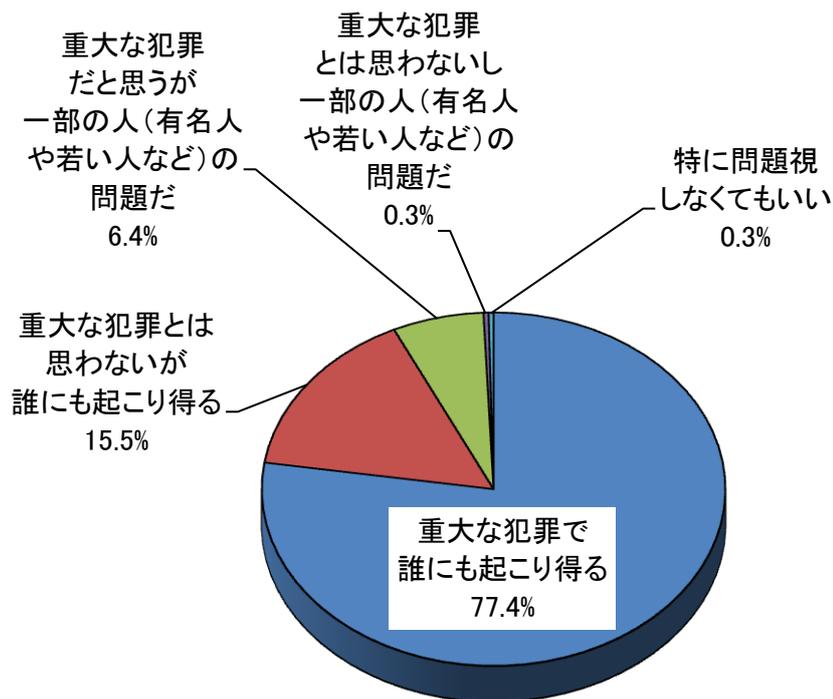
10歳代102件(7.1%) 20歳代603件(42.0%) 30歳代406件(28.3%)

40歳代224件(15.6%) 50歳代67件(4.7%) 60歳以上及び匿名35件(2.4%)

警察では、ストーカー行為に起因した事件や事故を防止するため、ストーカー行為者に対する警告・取締り、被害者の保護対策等に力を入れています。

Q17 ストーカー行為について、どう思いますか。
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=863)



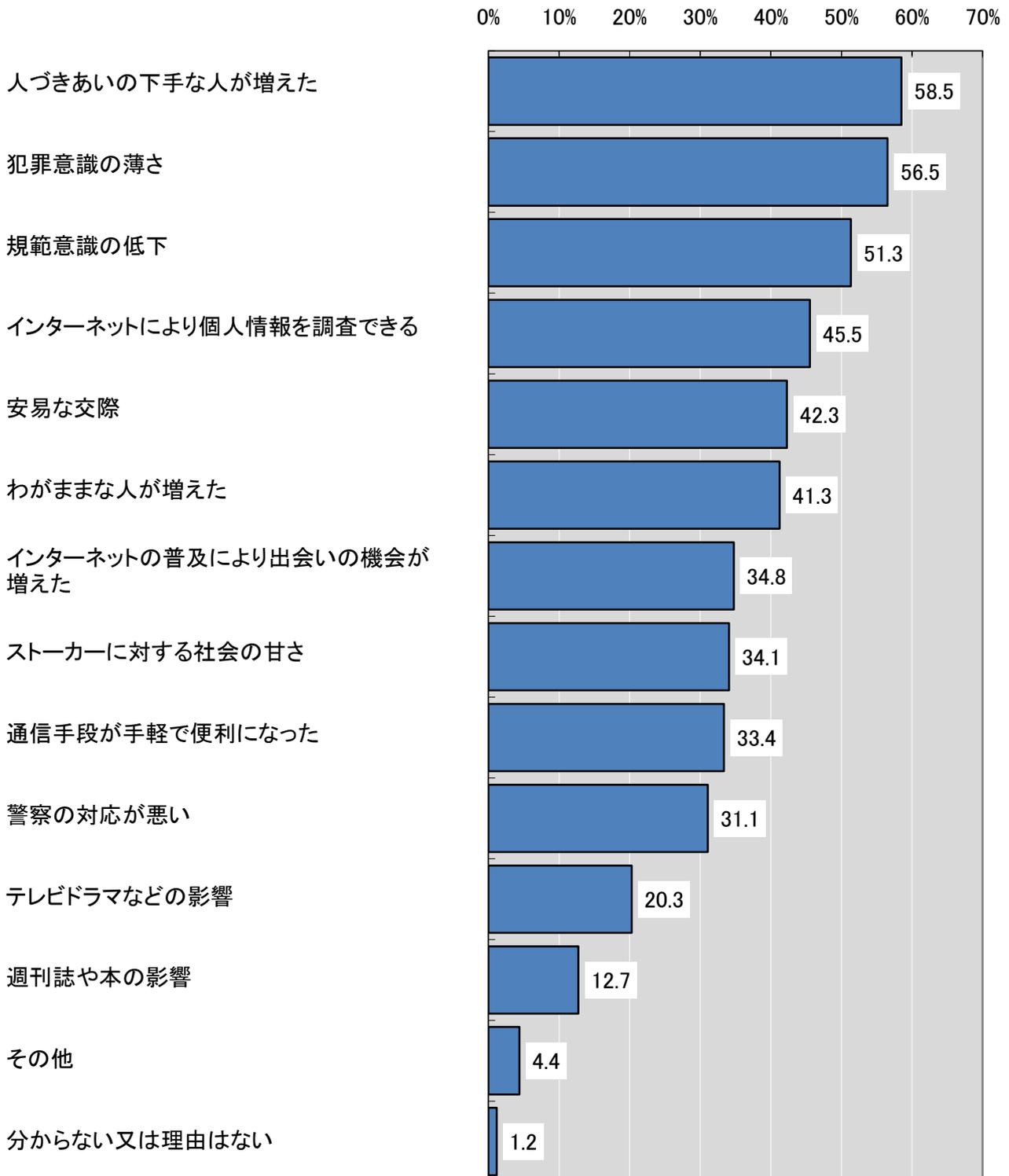
※ 「誰にも起こりうる(計)」(92.9%)
= 「重大な犯罪で誰にも起こり得る」
+ 「重大な犯罪とは思わないが誰にも起こり得る」

「重大な犯罪だと思う(計)」(83.8%)
= 「重大な犯罪で誰にも起こり得る」
+ 「重大な犯罪だと思うが一部の人(有名人や若い人など)の問題だ」

ストーカー被害の防止について

Q18 ストーカー被害が増えているのは、どうしてだと思いますか。
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

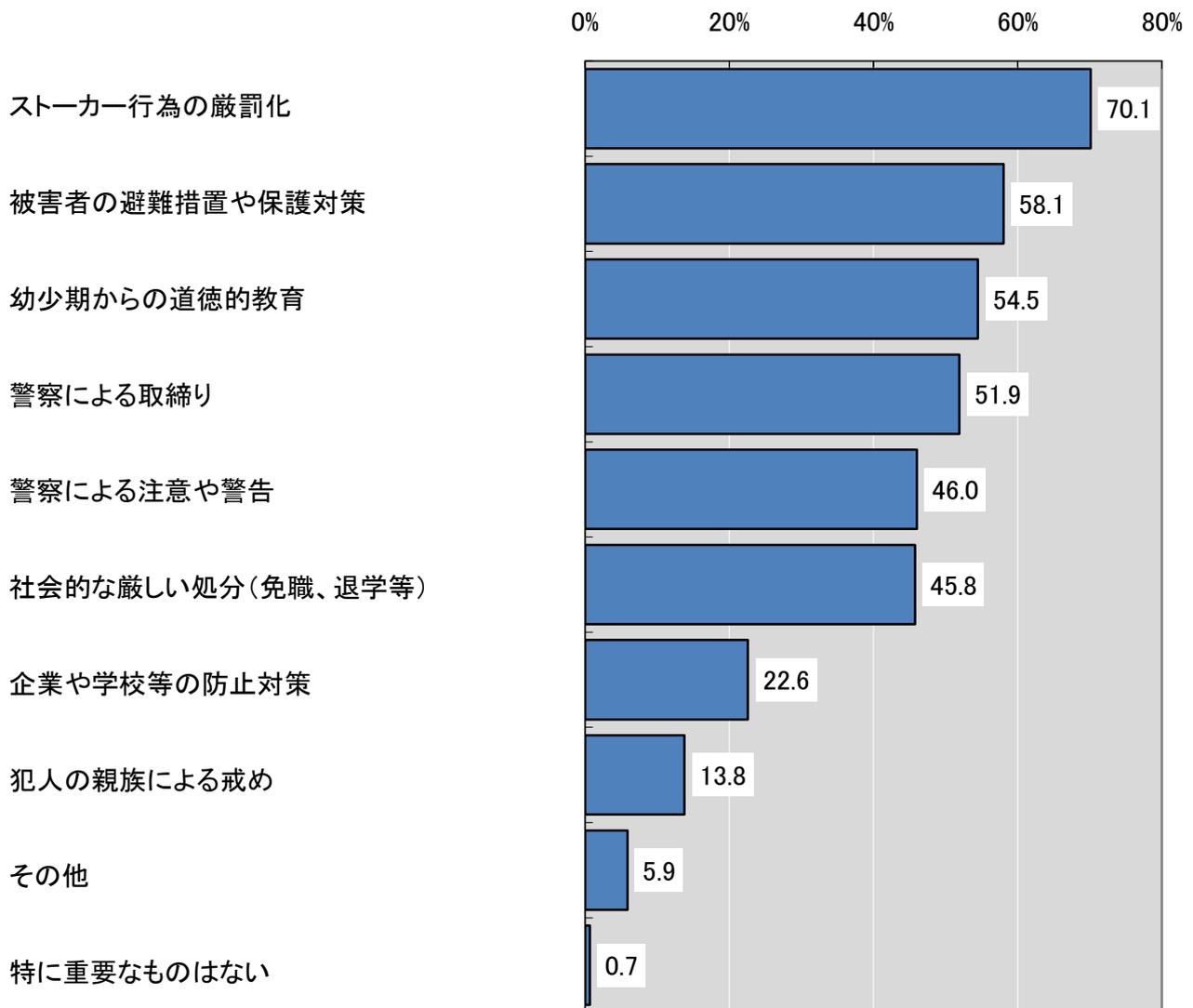
【全体】(n=863)



ストーカー被害の防止について

Q 19 ストーカー行為をさせないためには、何が重要だと思いますか。
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

【全体】(n=863)



けいしちょう安全安心モニター制度について

Q20 来年度はどのようなことを調査すべきかなど、ご意見をお聞かせください。
(400字以内)

～ 調査事項に関するご意見等（抜粋）～

- 「けいしちょう安全安心モニター制度」に参加させていただき、警視庁での取り組みがとても良く理解できるようになりました。来年度も、街に暮らす人々にとって警視庁が身近に感じ、理解が深まる調査であればよいと思います。今年度はモニターに参加させていただき、ありがとうございました。
これからも民と官が協力して安心して安全な街づくりができますようお願い致します。
- よく似た質問が多いように感じたので、犯罪の予防だけではなく、回ごとに交番や交通、災害時のことなど毎回テーマを変えて聞くほうが良いと思った。
- やはりインターネットに関連する犯罪が増加してくると思うのでインターネット犯罪について継続的に調査する必要があると思います。また、現状の景気のまま高齢者が増えていく環境では、高齢者をターゲットにした犯罪も増加すると予想されるので、高齢者に対する犯罪も調査が必要だと思います。
- 脱法ドラッグや、学校内でのいじめ、体罰問題など、警察が介入できないグレーゾーンについての調査や、今後どのように警察が介入していくべきかを調査して欲しい。
- 歩行者の自転車による交通事故が増えており 自分自身も心配を感じる事がなんどもありましたので自転車の交通ルールに対する意義を問う事が必要ではないでしょうか。
また、警察の方だけに依存せず、地域で協力し、警察との連携を構築した上での犯罪抑止や安全のための取り組みについての意見も興味深いです。
- 警察官の不祥事も増えていますので、減らすためにはどうすべきか、外部の意見を聞くことも重要と考えます。
- 未成年による犯罪の防止。ひったくりや万引きなどの窃盗犯罪や暴走行為の徹底的な取り締まりなどについて調査することを希望します。
- 来年度は、在日外国人による犯罪について調査していただきたいと考えます。今後、さらに犯罪件数が増加したり、都市部を狙ったテロ行為などが発生しないかと不安に感じています。
- 関係のない人が巻き込まれる、また、子供や女性など弱い立場の人たちが被害にあうような事件について、よりパトロール・取り締まりを強化していただきたいと思いました。
- 新種の「振り込め詐欺」や「押し買い対策」など、引き続きタイムリーな話題についての調査を続けてもらいたい。
- 近年、防犯カメラが増えている…と聞いているが、どのように成果を挙げているのか知りたい。